

# エイズ特集

# エイズをもっと考えよう!!

正しい知識を得ることは、エイズから身を守る第1歩

## エイズは、身近な問題です

エイズの感染者は世界中で増えており、日本でも感染者の急増が危惧されています。エイズは、原因となるウイルスが体内に相当量入れば、誰でもかかる病気です。最近では、エイズに感染していても感染していることを知らない人が増えています。

エイズを甘く考えることはできません。しかし、正しい知識を身につければ十分予防できる病気です。

エイズの蔓延を防ぐために、エイズについて考えましょう。

## エイズ - 日本の現状 エイズ・サーベランス情報より

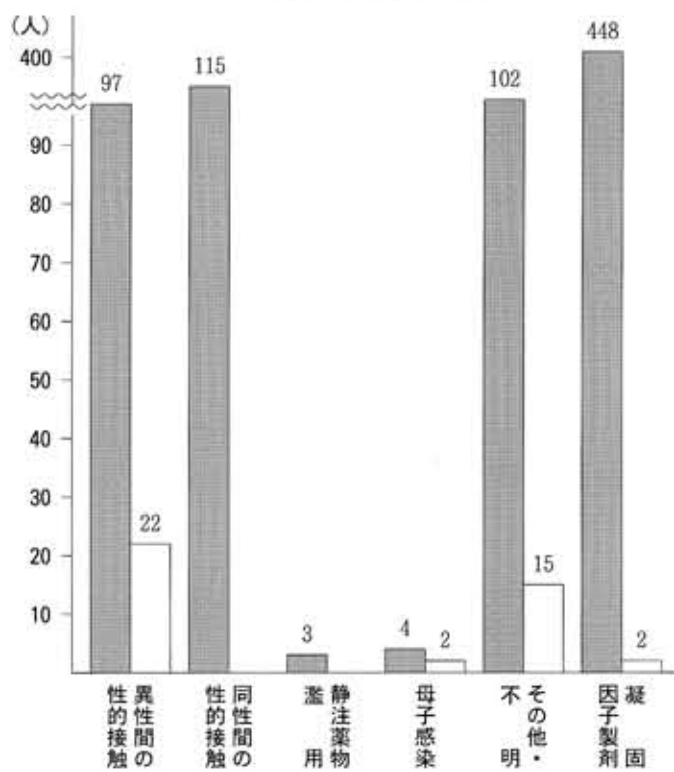
### エイズ患者・HIV感染者の報告状況

(平成6年8月末現在)

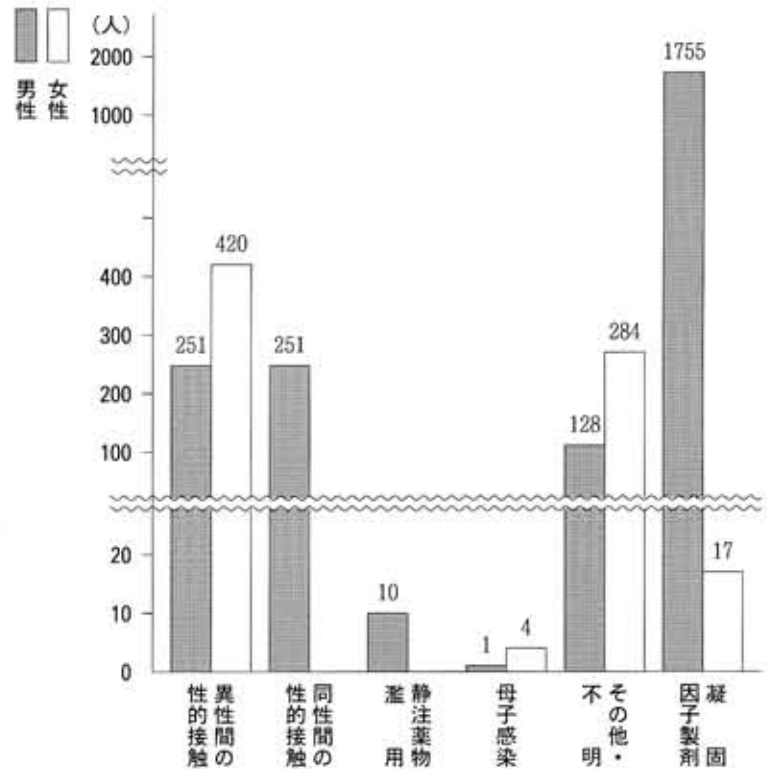
去る9月27日にサーベランス委員会が開かれ、平成6年7月1日～8月末日までの間に新たに報告されたHIV感染者等は92名(患者46名含む)です。この内日本人の患者・感染者は58名と過去最高を記録し、エイズの着実な増加がうかがえます。

今回の報告で、わが国の累積エイズ患者数は810名、感染者数は3,121名となりました。

エイズ患者の状況 (810人)



HIV感染者の状況 (3,121人)



### エイズとは

エイズは、正式病名を、「後天性免疫不全症候群」といい、HIV(ヒト免疫不全ウイルス)というウイルスによってひきおこされる病気です

### エイズは どうしてうつるのでしょ

エイズの主な感染源は、血液・精液・膣分泌液です。その感染経路には、3種類あります。

#### 性的接触による感染

最も危険な感染経路で感染原因の70%を占めると言われています。世界的にも異性間の性交渉による感染が主流です。

#### 母から子への母子感染

母親がエイズに感染していると妊娠中の母体内で赤ちゃんに感染したり、出産時や出産後に血液や傷口から感染する可能性があります。

また、母乳による感染も報告されています。

#### 血液による感染

現在では、安全体制が充分とられ、輸血による感染はまず心配ありません。

しかし、感染者の血液があやまって傷口や粘膜につくと感染する可能性があります。